



平成24年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月10日

上場会社名 株式会社 ユーシン

上場取引所 東

コード番号 6985 URL <http://www.u-shin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田邊 耕二

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務本部長 (氏名) 木下 和重

四半期報告書提出予定日 平成24年7月10日

配当支払開始予定日

TEL 03-5401-4660

平成24年8月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第2四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第2四半期	30,462	10.4	1,914	8.9	1,671	34.6	486	△22.3
23年11月期第2四半期	27,581	△8.7	1,757	△36.3	1,242	△54.7	625	△64.0

(注) 包括利益 24年11月期第2四半期 490百万円 (△20.0%) 23年11月期第2四半期 612百万円 (△69.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第2四半期	15.89	—
23年11月期第2四半期	20.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年11月期第2四半期	96,484	32,481	33.6	1,060.84
23年11月期	91,690	32,181	35.1	1,050.99

(参考) 自己資本 24年11月期第2四半期 32,455百万円 23年11月期 32,154百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	4.00	—	6.00	10.00
24年11月期	—	5.00	—	—	—
24年11月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	9.6	3,900	2.2	3,600	19.0	1,600	△0.1	52.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) U-SHIN AUTOPARTS MEXICO.S.A. DE C.V.、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(その他)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年11月期2Q	31,995,502 株	23年11月期	31,995,502 株
② 期末自己株式数	24年11月期2Q	1,401,644 株	23年11月期	1,401,448 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年11月期2Q	30,594,035 株	23年11月期2Q	30,594,147 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続きは完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依存して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、為替レート、株価など様々な要素により、見通しとは異なる結果となり得ることをご留意ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社を取り巻く経済情勢は、昨年度終盤から円高傾向が続くものの、在庫調整を終え円高対策を整備した国内完成品メーカーの生産数量が持ち直しつつあることから堅調に推移しました。

当第2四半期連結累計期間の業績について、連結売上高は30,462百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益は1,914百万円（同8.9%増）となりました。これは主に東日本大震災の影響を受けた前年同四半期から回復した結果によるものであります。

また、中長期戦略の下で推進している研究開発能力の強化と国内生産施設の合理化を目的とした広島新工場の建設につきましては、基礎工事が終わり建屋の建設が順調に進んでおります。中国における生産施設の拡充ならびにメキシコにおける米州戦略の中核となる生産拠点の設立を目的とした新工場の建設についてはそれぞれ、整地作業中ならびに整地を終え起工式を執り行いました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

(自動車部門)

自動車部門は昨年、当社の中では東日本大震災の影響を最も受けたため、当第2四半期連結累計期間の売上は大きく伸びたものの、昨年度における震災前の売上が大きかったことや当期首に円高の影響を強く受けたことが売上の増加を相殺する要因となりました。自動車部門の売上高は20,186百万円（前年同四半期比12.4%増）、営業利益は1,038百万円（同29.8%増）となりました。

(産業機械部門)

震災後の復興需要が続く建設機械および米国輸出用が伸びている農業機械が増収要因となりました。産業機械部門の売上高は8,892百万円（前年同四半期比7.7%増）であり、営業利益は上述した海外展開の支出を伴い763百万円（同10.6%減）となりました。

(住宅機器部門)

ホテル向けなど業態によって販売が回復しつつある客先もありますが、市場全体では大きな変化は見られず、住宅機器部門の売上高は1,382百万円（前年同四半期比1.3%増）、営業利益は売上構成が改善したことにより94百万円（同15.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4,794百万円増加し、96,484百万円となりました。これは主に資金調達によって現金及び預金が3,550百万円、広島新工場の建設等に伴い建設仮勘定が3,510百万円増加したことによるものであります。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ4,494百万円増加し、64,003百万円となりました。この主な要因は銀行借入及び社債発行による資金調達であり、長期借入金、短期借入金及び社債をあわせた有利子負債の合計額が3,551百万円増加しました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ299百万円増加し、32,481百万円となりました。これは主に利益剰余金が296百万円増加したものであります。

※第1四半期連結会計期間より、有価証券の評価方法を変更したため、当該会計方針の変更を反映した遡及修正後の数値にて算出しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年4月10日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、6月26日に公表いたしました仏Valeo社の一事業部門であるAccess Mechanism Product Group（“アクセスメカニズム事業”）の事業譲受につきましては、現在もValeo社と協議中であり、本決算短信の業績見通しは影響を受けておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、U-SHIN AUTOPARTS MEXICO, S. A. DE C. V. を新たに設立し、連結子会社としております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

時価のあるその他有価証券の減損処理に基づく評価損の戻入れについて、四半期切放し法を採用していましたが、昨今の経済環境の著しい変化に起因する各四半期ごとの市況の変動による影響を排除し、財政状態及び経営成績をより適正に表示するため、第1四半期連結会計期間より四半期洗替え法に変更しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については、遡及修正後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及修正を行う前と比べて、前第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は3百万円減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は79百万円増加しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,404	38,954
受取手形及び売掛金	16,143	16,217
有価証券	4,000	—
商品及び製品	2,955	3,051
仕掛品	1,165	1,212
原材料及び貯蔵品	3,653	3,440
その他	1,455	2,009
貸倒引当金	△289	△396
流動資産合計	64,487	64,489
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,014	3,928
機械装置及び運搬具(純額)	4,226	3,988
工具、器具及び備品(純額)	2,250	2,343
土地	7,724	7,927
建設仮勘定	714	4,225
有形固定資産合計	18,929	22,414
無形固定資産	308	450
投資その他の資産		
投資有価証券	5,941	6,015
その他	2,265	3,266
貸倒引当金	△250	△199
投資その他の資産合計	7,956	9,082
固定資産合計	27,194	31,947
繰延資産	7	47
資産合計	91,690	96,484
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,214	5,300
短期借入金	4,800	4,800
1年内償還予定の社債	1,200	400
1年内返済予定の長期借入金	4,872	7,288
未払金	6,011	6,088
未払法人税等	673	571
製品補償引当金	301	610
賞与引当金	86	557
役員賞与引当金	31	77
資産除去債務	0	2
その他	1,283	763
流動負債合計	24,474	26,461

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
固定負債		
社債	200	1,900
長期借入金	32,657	32,891
退職給付引当金	1,238	1,242
役員退職慰労引当金	111	99
資産除去債務	56	45
その他	770	1,361
固定負債合計	35,034	37,541
負債合計	59,509	64,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,016	12,016
資本剰余金	12,122	12,122
利益剰余金	11,156	11,453
自己株式	△831	△831
株主資本合計	34,464	34,760
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166	236
為替換算調整勘定	△2,476	△2,541
その他の包括利益累計額合計	△2,310	△2,305
少数株主持分	27	26
純資産合計	32,181	32,481
負債純資産合計	91,690	96,484

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
売上高	27,581	30,462
売上原価	23,095	25,258
売上総利益	4,485	5,204
販売費及び一般管理費	2,728	3,289
営業利益	1,757	1,914
営業外収益		
受取利息	19	19
受取配当金	32	61
為替差益	—	88
その他	73	58
営業外収益合計	124	227
営業外費用		
支払利息	239	331
為替差損	162	—
コミットメントライン手数料	184	74
その他	53	65
営業外費用合計	640	471
経常利益	1,242	1,671
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	1	34
受取保険金	80	—
受取損害賠償金	76	—
その他	0	—
特別利益合計	159	34
特別損失		
固定資産除売却損	7	10
減損損失	24	7
投資有価証券評価損	0	1
製品補償引当金繰入額	—	721
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	44	—
災害による損失	155	—
その他	—	35
特別損失合計	231	776
税金等調整前四半期純利益	1,169	929
法人税、住民税及び事業税	493	521
法人税等調整額	51	△76
法人税等合計	545	445
少数株主損益調整前四半期純利益	624	484
少数株主損失(△)	△1	△1
四半期純利益	625	486

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	624	484
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	21	70
為替換算調整勘定	△33	△65
その他の包括利益合計	△11	5
四半期包括利益	612	490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	614	491
少数株主に係る四半期包括利益	△1	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,169	929
減価償却費	1,276	1,229
長期前払費用償却額	6	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7	56
賞与引当金の増減額(△は減少)	436	471
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	2	45
製品補償引当金の増減額(△は減少)	△286	309
退職給付引当金の増減額(△は減少)	56	4
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△9	△12
受取利息及び受取配当金	△51	△80
支払利息	239	331
為替差損益(△は益)	91	△18
固定資産除売却損益(△は益)	6	10
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△1	△32
売上債権の増減額(△は増加)	2,550	△37
未収入金の増減額(△は増加)	60	△128
たな卸資産の増減額(△は増加)	△755	110
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,162	△44
未払金の増減額(△は減少)	△446	299
未払費用の増減額(△は減少)	△497	△572
前払費用の増減額(△は増加)	△9	△391
その他	△195	38
小計	2,487	2,519
利息及び配当金の受取額	52	53
利息の支払額	△187	△325
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,250	△656
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,101	1,591
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,547	△4,607
有形固定資産の売却による収入	3	2
無形固定資産の取得による支出	△48	△184
投資有価証券の取得による支出	△510	△5
投資有価証券の売却による収入	56	50
貸付けによる支出	△25	△1
貸付金の回収による収入	13	76
長期前払費用の取得による支出	△14	△623
保険積立金の解約による収入	21	66
保険積立金の積立による支出	△4	△10
定期預金の純増減額(△は増加)	△4,996	—
その他	△8	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,061	△5,229

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	600	—
長期借入れによる収入	23,000	4,000
長期借入金の返済による支出	△2,199	△1,348
社債の発行による収入	—	2,000
社債の償還による支出	△100	△1,100
セールアンドリースバックによる収入	—	667
リースバックに伴う差入保証金の支出	—	△595
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△122	△183
その他	—	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,178	3,394
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	△167
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	11,207	△410
現金及び現金同等物の期首残高	19,702	39,404
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△39
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,909	38,954

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年12月1日至平成23年5月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車部門	産業機械部門	住宅機器部門	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	17,955	8,260	1,364	27,581	-	27,581
セグメント間の内部 売上高又は振替高	105	12	3	121	△121	-
計	18,060	8,273	1,368	27,702	△121	27,581
セグメント利益	799	853	81	1,734	23	1,757

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去23百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年12月1日至平成24年5月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車部門	産業機械部門	住宅機器部門	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	20,186	8,892	1,382	30,462	-	30,462
セグメント間の内部 売上高又は振替高	137	37	2	176	△176	-
計	20,323	8,930	1,385	30,639	△176	30,462
セグメント利益	1,038	763	94	1,895	19	1,914

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去19百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当社は、平成24年6月25日開催の取締役会において、仏Valeo社の一事業部門であるAccess Mechanism Product Group(“アクセスメカニズム事業”)の事業譲受について、Valeo社と協議を開始することを決議いたしました。詳細につきましては、6月26日公表の「仏Valeo社とのアクセスメカニズム事業買収協議について」をご覧ください。